

後志の魅力 樽商大生が発掘

小樽商大の天津晶准教授のゼミの3年生8人が企画した特集が、昨年12月発行のタウンページ小樽市版、後志地方版にそれぞれ掲載された。後志管内の自然やライフスタイル、つながりの三つに注目。ライフスタイルの特集リーダー石岡純也さんは「今までと違った視点で地域を見てもらえるよう工夫した」と話している。
(徳留弥生)

企画・取材の特集がタウンページに

特集の企画、取材は昨年5月中旬から7月下旬にかけて行った。カラー5頁の構成。自然では市内企業の協力で小型無人機(ドローン)を使い、神恵内村北部の奇岩・窓岩を上空から撮影するなど新たな視点を取り上げた。つながりでは小樽の商店街や羊蹄山麓の道の駅などで物々交換。QRコードを使うと、動画投稿サイト「ユーチューブ」でドローンの映像や物々交換の様子が見られる。

さらに、ライフスタイルでは管内のシェアハウスの経営者や利用者取材した。昨年11月30日に札幌のホテルで行われた報告会で石岡さんは「シェアハウスが地域に根付いていることが分かった」と話した。

制作したNTTタウンページ(東京)は2016年12月発行の後志地方版でも小樽商大生

自然など3テーマ 「今までと違う視点で」

昨年11月30日の報告会で説明する小樽商大の石岡純也さん(右)



による特集を掲載した。同社の岡田昭彦社長は「タウンページはお年寄りに読まれているイメージ。若い人の視点で新たな地域の魅力を発掘して

ほしかった」と話している。小樽市版は240頁、後志地方版は272頁でいずれもA4判。すでに各家庭に配布されている。